

心触れ合う国際交流を体験しませんか？

アイダホフォールズ市一般訪問団の ホストファミリーを募集します！

10月31日(木)～11月9日(土)に、村の国際親善姉妹都市・米国アイダホフォールズ市から来村する一般訪問団(夫婦8組、男性2人、女性2人/計20人)のホストファミリーを募集します。



受け入れ期間▼11月1日(金)午後8時30分～3日(日・祝)午後8時30分(2泊3日)

対象等▼▽ボランティアで訪問団員を受け入れることができる▽家族の一員として、必要な諸経費(食事等を含む)を負担できる▽原則として、村内や近隣の各会場(姉妹都市交流会館等)までの送迎が可能——を満たす村内または近隣市町(12世帯程度)※応募者多数の場合は選考となります。

その他▼▽訪問団は滞在中(上記受け入れ期間を除く)、東海村姉妹都市交流協議会主催の行事に参加します。▽行事の内容により、ホストファミリーの参加も可能です。▽9月下旬に事前説明会を予定しています。

申し込み▼秘書広報課(役場行政棟3階)または姉妹都市交流会館(日曜日休館)備え付けの申込書に必要事項を記入の上、8月30日(金)までに、持参またはメールで申し込みください。※申込書は村公式ホームページからもダウンロードできます。

問い合わせ▼東海村姉妹都市交流協議会事務局(秘書広報課内) ☎282-1711 内線1304
✉hishokouhou@vill.tokai.ibaraki.jp



▲申込書のダウンロードはこちら

「保育」というおしごと

— 保育者からのメッセージ —



“いっぱい遊んで、
いっぱい大きくなあれ!”

「幼稚園や保育所の先生って子どもと遊んでいけばいいんでしょう?」。保育の仕事に就いて10年以上経ちますが、何度かこの言葉を聞いたことがあります。まさしくその通りですが、もちろんただ遊んでいるだけではありません。子どもたちは遊びの中でたくさんのお手伝いができることに魅力を感じ、保育の道に進むことを決めました。

砂遊びでの出来事。「私、砂でゼリー作る」とAちゃんはスコップと空のカップを持ってザクザク。でも、掘っている砂は乾いていたので、失敗してしまいます。さあ、ここからが保育者の出番です。助けを求めてきたAちゃんに「どうしてうまくいかなかったんだろうね」と返します。「ザクザクってこぼれちゃったの(保)」「そっか、白いサラサラの砂だもんね」「A「うん、固ければいいのに」。そこで、その砂に水を掛けてあげます。その様子を見て「A「ぬれたら黒くなった。固まりそうだよ!」。そして再びチャレンジ、大成功! うれしうなAちゃんの姿に誘われて、他の子どもたちも集まってきました。「あのね、水と砂を混ぜれば上手にできるんだよ!」と得意なAちゃん。発見した砂と水の関係を友達に一生懸命話します。「じゃあサラサラの砂はお砂糖にしよう!」水をいっぱい入れてコーヒースするね」と、遊びはどんどん広がります。

あの時、保育者がぬれている砂を「どうぞ」と与えてしまっていたら、Aちゃんの大発見、そして友達との楽しいやり取りはなかったかもしれません。新しい発見をしたときや友達と一緒に楽しいことを共有できたときの子どもの表情は本当にすてきです。遊びの中に散りばめられている学びの種を見つけ、花を咲かせてあげるのが私の仕事。その面白さに魅了される毎日。さて、明日はどんな楽しい遊びが待っているのかな。

舟石川幼稚園

大内直美 指導教諭